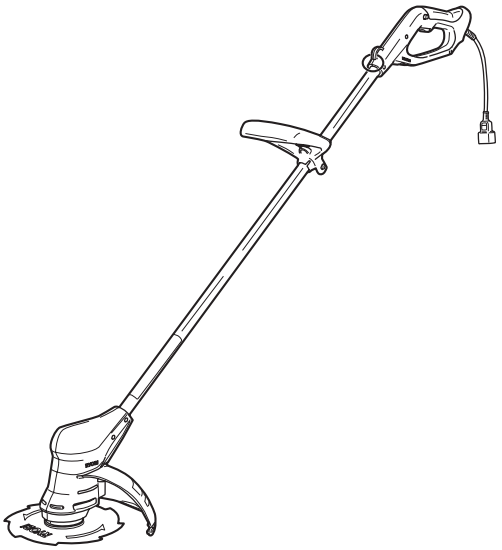
RYOBI

保証書付

取扱説明書
刈払機
AK-3000

回 二重絶縁



このたびは、リョービ刈払機をお買い上げいただきありがとうございます。
安全に能率よくお使いいただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みいただき、使用上の注意事項、本機の能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。
また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。

もくじ

	ページ
安全上のご注意	1
刈払機の使用上のご注意	5
騒音について	8
二重絶縁につて	8
仕様	9
各部の名称	9
付属品・別販売品	10
用途	10
刈刃の選定	11
補助ハンドルの取付け、調整	11
工具収納位置	11
飛散防護カバーの取付け	12
刈刃 (金属刃) の取付け	13
あんぜんロータの取付け	14
ナイロンカッタの取付け (別販売品)	15
肩掛バンドの取付け、調整	17
電源コードの接続	17
スイッチの扱い方	18
刈込み方向	18
刈込み作業	19
お手入れ・保管	21
修理について	21
故障かなと思ったら	22
保証書	裏表紙

6986842

安全上のご注意

●本機、および取扱説明書に警告マークを表示しています。
この警告マークの意味を十分ご理解のうえでご使用ください。

使用前に取扱説明書を最後まで必ずよく読むこと。

作業中は安全帽（ヘルメットなど）、保護めがね、耳栓などの保護具を着用すること。

作業中は半径 15m 以内に人や動物、ものなどを近づけないこと。

感電の恐れがあるので、雨中や湿った場所、または濡れた場所で使用しないこと。

電源コードが損傷した場合は、電源プラグを抜き、新品に交換すること。

●火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。

●ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。ご使用上の注意事項は「⚠警告」と「⚠注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

⚠警　告　誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注　意　誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「⚠注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
「⚠警告」・「⚠注意」以外に製品の据付け、操作、メンテナンスなどに関する重要な注意事項は「⚠」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。

●「電動工具」は、電源式（コード付き）電動工具を示します。

●お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

● 他の人に貸出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

⚠ 警　告

作業環境

1. 作業場は、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
・ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
・電動工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
3. 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
・注意が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。

電気に関する安全事項

1. 電動工具の電源プラグは､電源コンセントに合ったものを使用してください。電源プラグを改造したり、アースした電動工具と一緒にアダプタプラグを使用しないでください。
・改造していない電源プラグと適切な電源コンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
2. パイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアースされているものに身体を接触させないようにしてください。
・感電するおそれがあります。
3. 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用したりしないでください。
・電動工具内部に水が入り、感電するおそれがあります。
・感電のおそれがあるので、ぬれた手で電源プラグに触れないでください。
4. 電源コードを乱暴に扱わないでください。
・電源コードを持って電動工具を運んだり、電源プラグを抜くために引っ張ったりしないでください。
・電源コードを熱、油、角のあるところや動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、からまって感電するおそれがあります。
5. 屋外で使用する場合、屋外使用に適した延長コードを使用してください。
・キャブタイヤケーブルの延長コードを使用すれば、感電のリスクが低減されます。

作業者に関する安全事項

1. 油断しないで十分注意して作業してください。
・電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意し、常識を働かせて慎重に作業してください。
・疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる場合は、電動工具を使用しないでください。
・一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。
2. 安全保護具を使用してください。
・作業時は、常に保護めがねを使用し、必要に応じて、防じんマスク、すべり防止安全靴、ヘルメット、耳栓（イヤマフ）などを着用することで、傷害事故が低減されます。

安全上のご注意

⚠ 警　告

作業者に関する安全事項

3. 不意な始動は避けてください。
・電源プラグを電源コンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
・スイッチに指をかけて運んだり、スイッチがオンになった電動工具の電源プラグを電源コンセントにさし込むと事故の原因になります。

4. 電動工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取外してください。
・電源を入れたときに、取付けたキーやレンチなどが回転して傷害のおそれがあります。

5. 無理な姿勢で作業をしないでください。
・常に足元をしっかりさせ、バランスを保つことで、予期しない状況でも適切に操作することが出来ます。
・材料を動かして加工する製品を除き、クランプや万力などを利用し材料をしっかりと固定して加工してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。

6. きちんとした服装で作業してください。
・回転部に巻込まれるおそれがあるので、だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は着用せず、髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
・長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
・屋外での作業の場合には、すべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。

7. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
・集じん装置を使用することで粉じんの人体への影響を軽減できます。

電動工具の使用と手入れ

1. 無理して使用せず作業に合った電動工具を使用してください。
・安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った負荷で作業してください。
・小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。

2. スイッチに異常がないか点検してください。
・スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は危険です。ご使用前にお買い上げの販売店に修理を依頼してください。

3. 意図しない電動工具の始動を防ぐために、次の場合はスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
・電動工具の調整や刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合
・保管、または修理する場合
・その他危険が予想される場合

⚠ 警　告

電動工具の使用と手入れ

4. 使用しない電動工具は、乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。また、電動工具の操作に不慣れな方には電動工具を使用させないでください。
・不慣れな方のご使用は危険です。

5. 電動工具の保守点検をしてください。
・可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
・保守点検が不十分な場合、事故の原因になります。
・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
・破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。
・取扱説明書に指示されていない場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
・スイッチで始動、及び停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。
・スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
・電源コードは定期的に点検し、損傷している場合はお買い上げの販売店に修理を依頼してください。
・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
・安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。

6. 先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。
・先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。

7. 電動工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせて、それらの取扱説明書に従ってご使用ください。
・指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。

8. 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。

整備

1. 電動工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。
・本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
・修理は、必ずお買い上げの販売店に依頼してください。
・修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがのおそれがあります。

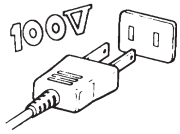
刈払機を安全にお使い

刈払機ご使用に際して

●先に電動工具として共通の警告・注意事項を述べましたが、刈払機をご使用の際には、さらにつぎに述べる警告・注意事項を守ってください。

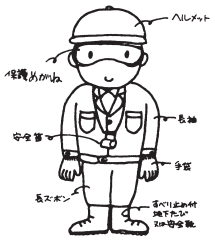
⚠ 警　告

安全作業のために



1. 使用電源は、必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。
・表示を超えた電圧で使用すると過負荷による発熱、火災の原因になります。

2. 本機の使用用途は雑草の刈払いです。枝打ち作業などには、絶対に使用しないでください。
・けがや事故の原因になります。



3. 刈払い作業には、次の服装、保護具を着用してください。
・すそじまりのよい長そで、長ズボン。
・ヘルメットなど、労働省検定規格に合格した保安帽。
・足元保護のための安全靴。
・保護めがねまたはフェイスガード。
・防振性の高い手袋。

4. 強風のとき、および夜間には使用しないでください。
・安全な作業ができないため、けがの原因になります。

5. 次のような人、または状況下では使用しないでください。安全な作業ができないため、けがの原因になります。
・子供には使わせないでください。
・妊娠中の人は使用しないでください。
・疲れているとき、病気のとき、酔っているときは使用しないでください。
・薬物の影響、その他の理由で、正常な運転ができない人は使用しないでください。
・機械の知識のない人や、他の人に機械を借りて作業をするときは、あらかじめ安全作業の指導を受けてから使用してください。また、本機を他の人に貸すときは、取扱説明書を必ず添付してください。

6. 各部のネジにゆるみがないか、損傷箇所がないか点検してください。
・けがの原因になります。

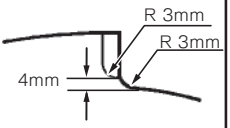
7. 刈刃は指定のもの以外使用しないでください。けがの原因になります。
・刈刃や付属品は取扱説明書に従って、確実に取付けてください。
・刈刃の穴を刃受金具凸部に確実に取付けてください。
・交換時は、必ず指定の純正部品を使用してください。

いただくために

⚠ 警　告

安全作業のために

・ナイロンカッタを使用するときは、指定の柔軟性のある非金属コードのみを使用してください。針金などは、絶対に使用しないでください。
・刈刃はよく目立てされたものを使用してください。
刈刃を目立てするときは、割れ防止のため、必ず刃元に丸みを付けてください。（右図参照）



・少しでも曲がり、ゆがみ、亀裂、折れ、損傷がある刈刃は、新品と交換してください。
・押えボルトは付属品のレンチを使用し、最後まで締付けてください。
・刈刃取付け後、刈刃を手で回して、押えボルトが確実に締まっているか、刈刃にガタツキ、振れなどがないか確認してください。
適切に取付けられていないと刈刃が飛び、作業者または周囲の人に重傷を負わせることがあります。

8. 刈刃の取付け、交換時には、必ず手袋を着用してください。
・誤って手が滑り、刈刃でけがをする恐れがあります。

9. 飛散防護カバーは、必ず指定する位置に取付けて使用してください。
・刈くずや小石などが飛散し、けがの原因になります。

10. 作業場に電線管や水道管、ガス管などがないことを確かめてください。
・電線管や水道管、ガス管などがあると、刈刃が触れ、感電や漏電、ガス漏れの原因になります。

11. 作業をする前に小石、ガラス、針金、ひも、空カン、空ビンなどの異物を取除いてください。
・刈刃などに当たり飛散して､作業者や周囲の人がけがをする原因になります。

12. スイッチを入れるときは、次のことに注意してください。スイッチを入れると同時に刈刃が回転し、けがの原因になります。
・刈刃が地面に触れないようにしてください。
・周囲に人、動物、障害物などがないかを十分確認してください。

13. セフティロックボタンを押込んだ状態で固定しないでください。
・セフティ機構が働かず、けがの原因になります。

14. 作業中は、半径 15m 以内に人や動物、ものなどを近づけないでください。刈刃が当たり、けがの原因になります。
・これらが接近したときは、直ちにスイッチを切り、刈刃の回転を止めてください。
・同一作業場で、同時に作業するときは、15m 以上の間隔を取り、監督者をおいてください。

刈払機を安全にお使い

⚠ 警　告

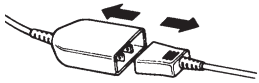
安全作業のために

15. 連続作業は疲労のため、事故の原因になります。
・1 回の作業時間は 30 分以内とし、10～20 分休憩してください。
（参考）国有林では、作業者の健康管理のため、次のような基準が設けられています。

作業は連続 3 日を限度として、			
1 回の連続作業時間	30 分　以内	1 週の作業日数	5 日　以内
1 日の作業時間	2 時間　以内	1 ヶ月の作業時間	40 時間　以内

16. 無理な姿勢で作業しないでください。けがの原因になります。
・刈刃部分を腰より上にあげないでください。
・作業は両手でハンドルをしっかり握り、腕力だけで振り回さず、無理のない操作をしてください。

17. 次の場合は、電源プラグを抜いてください。
電源プラグをさしたままにしていると、けがの原因になります。
・作業を中止したり、移動するとき。
・作業中に機械から離れるとき。
・機械の調子が悪かったり、異常音がしたとき。
・その他危険が予想されるとき。



18. 刈刃部に草などが巻付いたときには、必ずスイッチを切り、電源プラグを抜いた後、刈刃の回転が停止したことを確認してから、草などを除去してください。
・草などを取除いたはずみで不意に刈刃が回転し、けがの原因になります。

19. 作業中、刈刃を石、金属、切株に当てないようにしてください。
刈刃が割れ、破片が飛散し、けがの原因になります。
・当たった場合は、必ずスイッチを切り電源プラグを抜いた後、刈刃の回転が停止したことを確認してから、刈刃に異常がないか確認してください。
・小石などが当たると、小石がはね飛ばされ、けがの原因になります。
・切株などに刈刃が食込んだときには、必ずスイッチを切り電源プラグを抜いた後、刈刃を切株などから離してください。

20. 回転中の刈刃が硬いものに接触した場合、反動（はね返り）が起こり、機械や作業者が激しく突かれます。刈刃を硬いものに接触させないでください。
・作業者は機械を制御できなくなり、けがの原因になります。

21. 刈払機を使用している人に近づくときは、使用者から 15m 以上離れた位置で合図し、刈刃が停止したことを確認してから近づいてください。
・不用意に近づくと、使用者が気づかず、事故の原因になります。

22. 誤って落としたりぶつけたりしたときは、刈刃や本機に亀裂、変形などがないか確認してください。
・破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

いただくために

⚠ 警　告

安全作業のために

23. 作業を終えるときは、スイッチ（トリガ）を離し、刈刃が停止したことを確認してから機械を降ろし、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
・スイッチ（トリガ）を離した後も刈刃が回転し続けることにより、けがをすることがあります。

24. 回転している刈刃に身体を近づけないでください。
・けがの原因になります。

⚠ 注　意

安全作業のために

1. 必ず肩掛バンドを使用し、肩掛バンドとハンドルを作業しやすい位置に調整をしてください。
・より安全に作業していただくためです。

2. 草が高く残っているときは、まず高刈りをし、障害物を確認してから作業してください。
・隠れた障害物に刈刃が当たり、けがの原因になります。

3. 保管や持運びのときは、必ず刈刃に刈刃カバーを取付けてください。
・刈刃が人に当たり、けがの原因になります。

4. 刈刃でコードを切断しないように注意してください。
万一、コードを傷つけたり、誤って切断した場合は直ちに電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
・感電の原因になります。

騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県などの条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

二重絶縁について

二重絶縁とは、電気回路と使用者の間が異なる２つの絶縁物により絶縁され、感電に対する安全性が高くなった構造を言います。このためアース（接地）する必要がありません。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

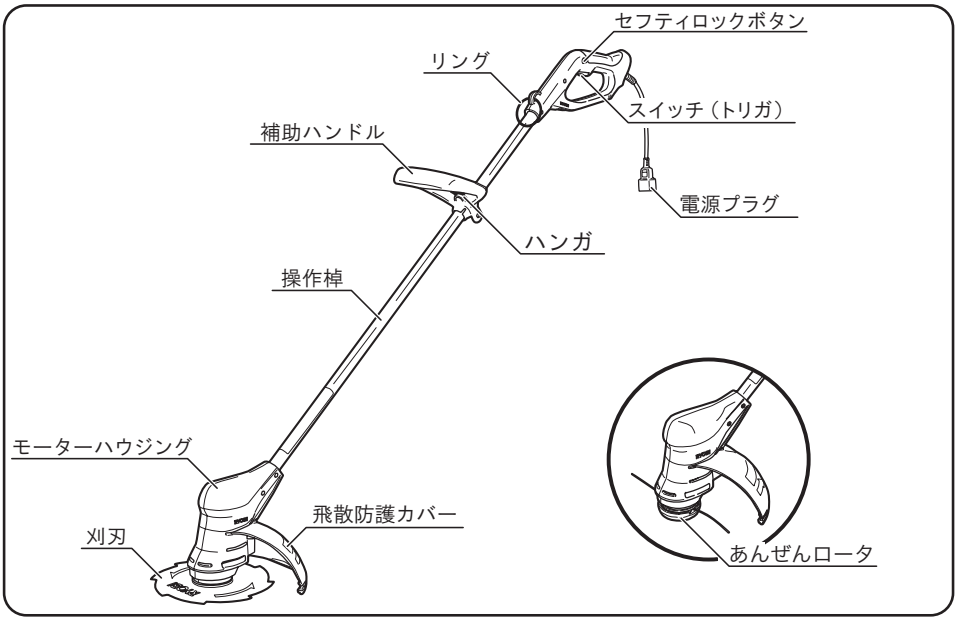
主要機能・名称・用途

■仕様

	刈刃（金属 8 枚刃）	あんぜんロータ
電　源	単相・交流 100 V　50/60 Hz	
定格電流	3.4 A	
消費電力	320 W	
無負荷回転数	7,800 min^{-1}	7,500 min^{-1}
操作ハンドル	ループハンドル	
刈刃寸法	金属 8 枚刃 （外径）×（内径） 200mm × 25.4mm	ナイロンコード （径）2.0mm×（長さ）105mm 1 回の刈幅 250mm
本体寸法(長さ × 幅 × 高さ)	1431×224×274 mm	1452×250×274 mm
質　量	※2.5 kg	※2.2 kg
コード長さ	0.25m	
絶縁方式	二重絶縁	

※ 記載質量には刈刃カバー、肩掛バンドは含まれていません。

■各部の名称



■付属品

・レンチ（本体収納）…… 1
・レンチピン（本体収納）…… 1
・延長コード　10m …… 1
・刈刃（金属８枚刃）（外径）200mm ×（内径）25.4mm …… 1
・あんぜんロータ …… 1
・ナイロンコード（径）2.0mm×（長さ）105mm ……10
・保護めがね …… 1
・刈刃カバー …… 1
・肩掛バンド …… 1
・飛散防護カバー …… 1
・補助ハンドル組立（蝶ボルト付）…… 1

■別販売品

・ナイロンカッタ（EK-3001）
・ナイロンコード（径）2.0mm×（長さ）3m　3 本
・ナイロンコード（径）2.0mm×（長さ）105mm　30 本
・プラカッタ（外径）200mm
・プラカッタ用替刃　6 枚組

※別販売品のご購入はお買い上げの販売店、もしくはお近くの販売店にお問い合わせください。

■用途

・芝から雑草までの刈込み作業

準備

■刈刃の選定

●金属８枚刃
雑草用

●プラカッタ
柔らかい雑草から、芝の刈込み用

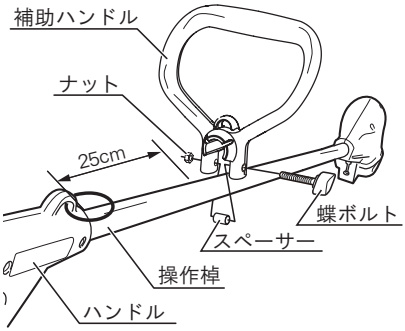
●ナイロンカッタ
キワ刈りや石の多い所、芝の刈込み用

●あんぜんロータ
キワ刈りや石の多い所、芝の刈込み用
一定寸のナイロンコードをさし換えて使用するタイプ

用途＼刈刃	金属8枚刃	プラカッタ	ナイロンカッタ	あんぜんロータ
雑草刈	○			
雑草刈	○	○		
芝　刈		○	○	○
キワ刈		○	○	○

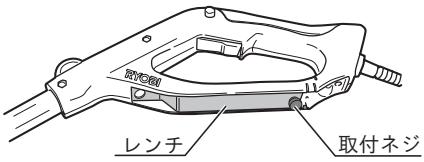
■補助ハンドルの取付け・調整

・補助ハンドルを操作棹に押込み、蝶ボルト、スペーサー、ナットで固定します。
右図のように蝶ボルトを補助ハンドルにさし込み、スペーサーに通して締付けてください。
・補助ハンドルの取付位置は、ハンドル端面から約 25cm を目安とし、作業のしやすい位置に調整してください。
・調整後は、蝶ボルトをしっかり締付けて補助ハンドルを固定してください。
※ 取付け、調整の際は、スペーサーやナットをなくさないように注意してください。

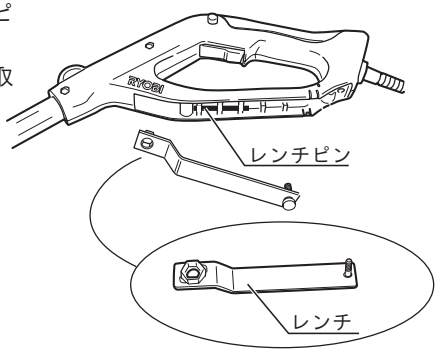


■工具収納位置

・刈刃の取付けに必要な工具（レンチ・レンチピン）はハンドルに収納しています。
取付ネジをゆるめてレンチ、レンチピンを取出してください。



収納状態



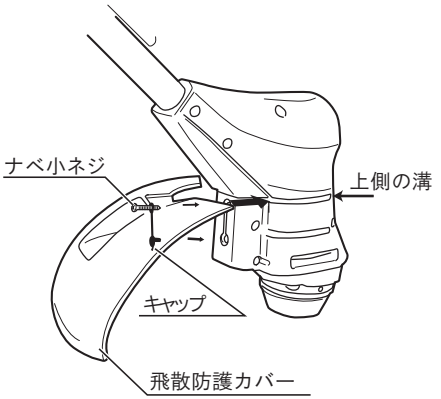
■飛散防護カバーの取付け

⚠ 警　告

・飛散防護カバーは必ず指定する位置に取付けて使用してください。刈りくずや小石が飛散し、けがの原因になります。

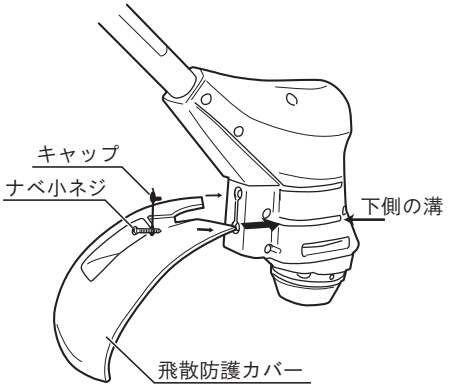
●金属８枚刃・あんぜんロータ・プラカッタ（別販売品） 使用時

・キャップを右図のように下側にし、上側の溝に飛散防護カバーをさし込んでから、ナベ小ネジを締付けて固定します。
・キャップでナベ小ネジの入っていない側の穴をふさいでください。使用中、穴にゴミが入るのを防ぎます。



●ナイロンカッタ（別販売品） 使用時

・キャップを右図のように上側にし、下側の溝に飛散防護カバーをさし込んでから、ナベ小ネジを締付けて固定します。
・キャップでナベ小ネジの入っていない側の穴をふさいでください。使用中、穴にゴミが入るのを防ぎます。



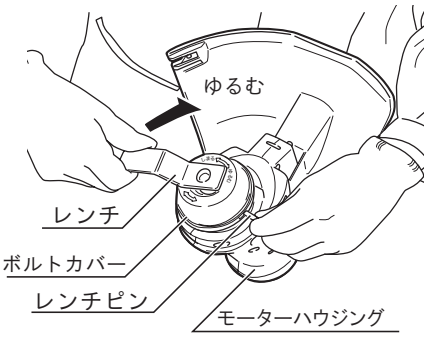
準備

■刈刃（金属８枚刃）の取付け

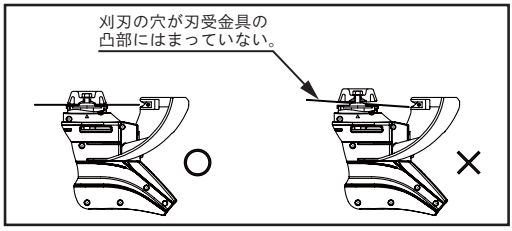
⚠ 警　告

- 刈刃の取付け、取外しの時は、スイッチを切り電源プラグを電源コンセントから抜いてください。不意な始動によるけがの原因になります。
- 刈刃の取付け、交換時には必ず手袋を着用してください。誤って手が滑り、刈刃でけがをする恐れがあります。
- 刈刃の穴を刃受金具凸部に合わせて確実に取付けてください。
  確実に取付けていないと刈刃が飛び、作業者または周囲の人に重傷を負わせることがあります。
- 押えボルトはゆるみ防止のために特殊な加工がしてあります。付属品のレンチを使用し、最後まで締付けてください。確実に締付けていないと刈刃が飛び、作業者または周囲の人に重傷を負わせることがあります。
- 刈刃取付け後、刈刃を手で回して押えボルトが確実に締まっているか、刈刃にガタツキ、振れなどがないか確認してください。確実でないと刈刃が飛び、作業者または周囲の人に重傷を負わせることがあります。

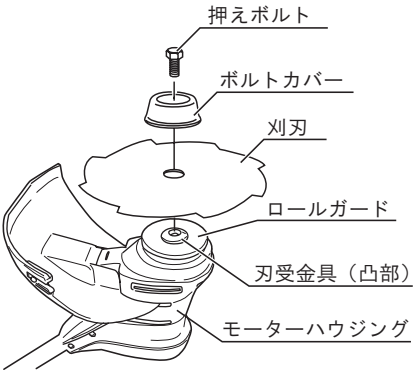
1. ハンドルからレンチ､レンチピンを取出します。
2. 本機を裏返してください。
3. レンチピンをモーターハウジングのピン穴にさし込み、刃受金具を固定して軸が回らないことを確認してください。
4. レンチを使用し､図の矢印方向（右）に回して、押えボルトをゆるめてください。
   押えボルトは逆ネジ＝左ネジです。
5. 押えボルト、ボルトカバーを取外します。



6. 刈刃は文字がある面をモーターハウジング側にし、刈刃の穴を刃受金具凸部に合わせて確実に取付けてください。

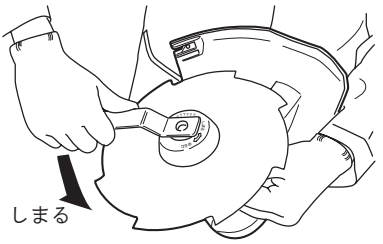


その後ボルトカバー、押えボルトを取付けてください。



7. 再度レンチピンをモーターハウジングのピン穴にさし込み、刃受金具を固定して軸が回らないことを確認後、レンチを図の矢印方向（左）に回して、しっかりと締付けてください。
※参考締付トルク＝14.7～19.6N·m
（150～200kgf·cm）

8. 取付け作業が終了したら、レンチ、レンチピンはハンドルに収納してください。

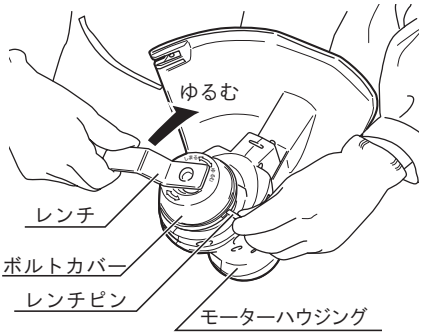


■あんぜんロータの取付け

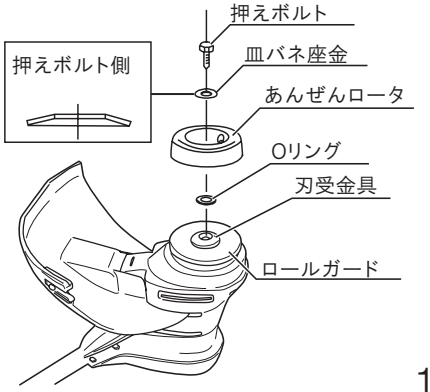
⚠ 警　告

・あんぜんロータの取付け、取外しの時は、スイッチを切り電源プラグを電源コンセントから抜いてください。不意な始動によるけがの原因になります。

1. ハンドルからレンチ、レンチピンを取出します。
2. 本機を裏返してください。
3. レンチピンをモーターハウジングのピン穴にさし込み、刃受金具を固定して軸が回らないことを確認してください。
4. レンチを使用し、図の矢印方向（右）に回して、押えボルトをゆるめてください。
押えボルトは逆ネジ＝左ネジです。
5. 刈刃用の押えボルト、ボルトカバーを取外します。

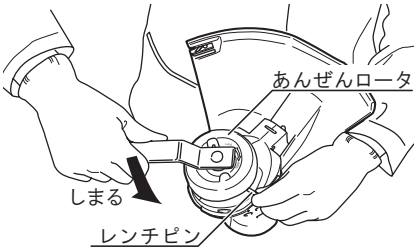


6. あんぜんロータの取付けは、右図の順に取付けてください。
（通常　押えボルト、皿バネ座金、あんぜんロータは、O リングで１つにまとめてあります。）



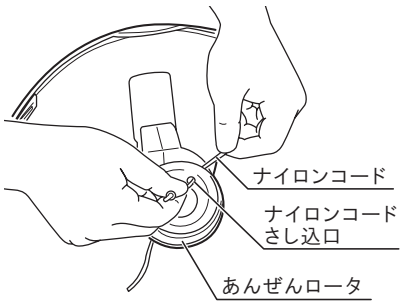
準備

7. 再度レンチピンをモーターハウジングのピン穴にさし込み、刃受金具を固定して軸が回らないことを確認し、レンチを図の矢印方向（左）に回して、しっかりと締付けてください。
   ※ 押えボルトはゆるみ防止のために特殊な加工がしてあります。最後まで締付けてください。参考締付トルク＝14.7～19.6N·m（150～200kgf·cm）



8. あんぜんロータのナイロンコードさし込口に、ナイロンコードをさし込みます。
   あんぜんロータとロールガードの間から、ナイロンコードが出てきます。出てきたナイロンコードを引っ張って取付けてください。

> ⚠ 2本のナイロンコードの長さが均等でないと、振動が発生します。長さが不揃いの場合は切りそろえるか、新しいものと交換してください。



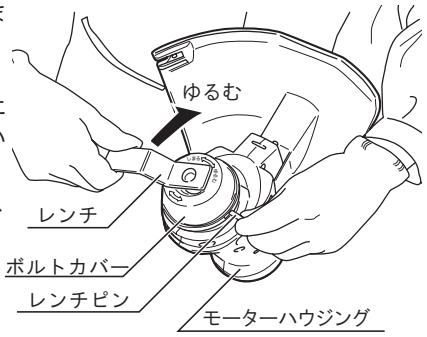
9. 取付け作業が終了したら、レンチ、レンチピンはハンドルに収納してください。

■ナイロンカッタの取付け（別販売品）

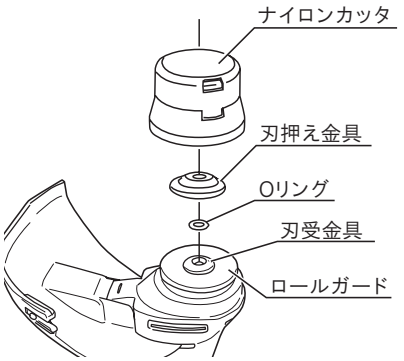
⚠ 警　告

・ナイロンカッタの取付け、取外しの時は、スイッチを切り電源プラグを電源コンセントから抜いてください。不意な始動によるけがの原因になります。

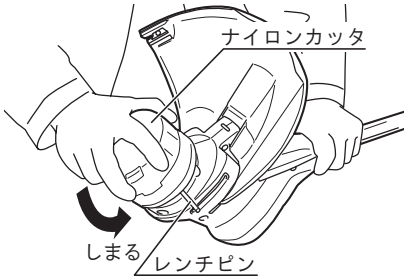
1. ハンドルからレンチ、レンチピンを取出します。
2. 本機を裏返してください。
3. レンチピンをモーターハウジングのピン穴にさし込み、刃受金具を固定して軸が回らないことを確認してください。
4. レンチを使用し、図の矢印方向（右）に回して、押えボルトをゆるめてください。
   押えボルトは逆ネジ＝左ネジです。
5. 押えボルト、ボルトカバーを取外します。



6. ナイロンカッタの取付けは、右図の順に取付けてください。
（通常ナイロンカッタ、刃押え金具は、O リングで１つにまとめてあります。）



7. 再度レンチピンをモーターハウジングのピン穴にさし込み、刃受金具を固定して軸が回らないことを確認し、ナイロンカッタを図の矢印方向（左）に回して、しっかりと締付けてください。
※参考締付トルク＝7.8～11.8N·m
（80～120kgf·cm）

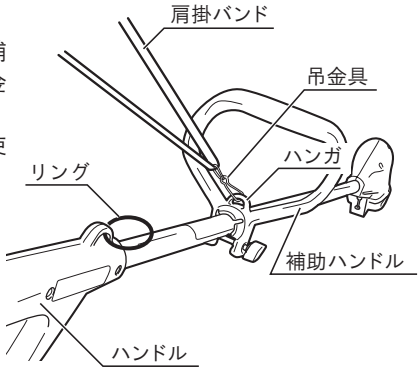


8. 取付け作業が終了したら、レンチ、レンチピンはハンドルに収納してください。

準備

■肩掛バンドの取付け・調整

・肩掛バンドは、ハンドル部のリングまたは補助ハンドル部のハンガの使いやすい側に吊金具を引っ掛けて取付けてください。
バンドの長さを調整して、肩から吊るして使用してください。

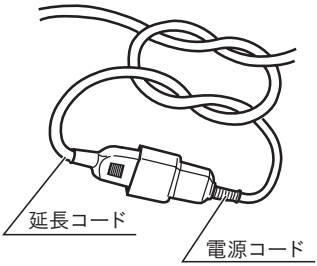


■電源コードの接続

⚠ 警　告

・電源コードを接続する前にスイッチが切れていること、延長コードが電源コンセントに接続されていないことを確認してください。

・電源コードを延長コードに接続します。
・作業中、コードの抜けを防止するため、図のような方法で接続してください。
・接続部を確実に接続してから、延長コードの電源プラグを電源コンセントにさし込みます。



⚠

・市販の延長コードを使用する場合は、機械の性能を十分に発揮させるため、できる限り太く、短い（３０m以内）工具用のキャブタイヤコードを使用してください。
長すぎる延長コードは電圧降下により、十分な性能が発揮されないだけでなく、モーター焼けの原因にもなります。
ドラム式の延長コードを使用する場合は、発熱などによる電圧降下や火災事故を防止するために、コードを全て引出してご使用ください。

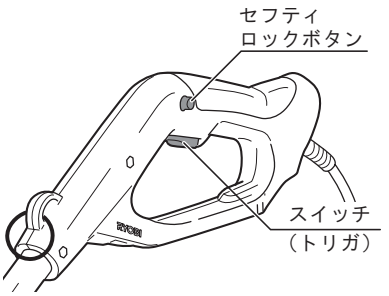
使い方

■スイッチの扱い方

⚠ 警　告

・ 使用電源は、必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。表示を超える電圧で使用すると、過負荷による発熱、火災の原因になります。
・セフティロックボタンを押込んだ状態で固定しないでください。セフティ機構が働かず、けがの原因になります。

・本機はセフティスイッチを採用しています。セフティロックボタンを押さなければスイッチは入りません。
・電源プラグを電源コンセントに接続するときは、スイッチが切れていることを確認してください。
・スイッチは、セフティロックボタンを押さえた状態でトリガを引くと入ります。
切るときはトリガを放すだけで切れます。



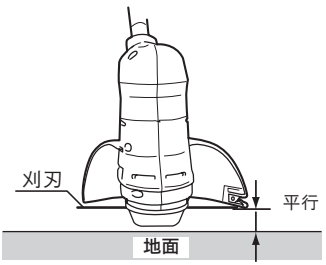
■刈込み方向

⚠

・刈刃の底面、あんぜんロータ・ナイロンカッタの側面が地面に接しないようにしてください。

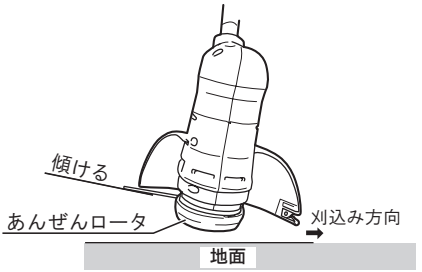
（金属 8 枚刃、プラカッタ）

刈刃を地面と平行にして、作業を行なってください。



（あんぜんロータ、ナイロンカッタ）

あんぜんロータ、ナイロンカッタを刈込み方向に少し傾けて、作業を行なってください。



使い方

■刈込み作業

⚠ 警　告

・飛散防護カバーは、必ず指定する位置に取付けて使用してください。刈りくずや小石が飛散し、けがの原因になります。
・使用中は、本体を確実に保持してください。確実に保持していないと、けがの原因になります。
・無理な姿勢で作業しないでください。常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
・使用中は、刈刃などに手や顔などを近づけないでください。けがの原因になります。

⚠ 注　意

・刈刃や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。確実でないと外れたりし、けがの原因になります。

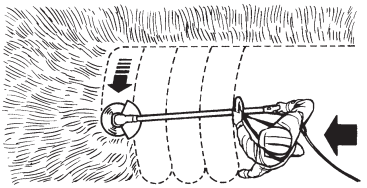
（基本的な作業）

・肩掛バンドは身体に合わせて長さを調節し、吊金具に本機を取付けます。
・ハンドルを両手でしっかり握り、片足を一歩踏込んで（刈刃の回転方向に合わせて）体重の移動が容易で安全な体勢を作ります。
・スイッチを入れ、刈刃の回転が十分上がってから草刈作業を開始します。

⚠

・刈刃を地面に平行にして作業を行なってください。刈刃の底面が地面に接しないようにしてください。

・操作棹だけを振回さず腰の回転によって操作します。
刈刃が左回転のため右から左に移動するようにして草刈りを行ないます。
右から左へ刈ると効率的な作業ができます。



・本機は草刈り用です。かん木などの木を刈るとモーターの回転数が落ちたり、停止することがあります。かん木などの木は機械の故障の原因となるため避けてください。
・負荷の掛けすぎにより、モーターの回転数が落ちたり、停止した場合には直ちにスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いた後、過負荷の原因を取除いてください。

⚠

・モーターが停止するような使用をすると、モーターを焼損する恐れがあります。

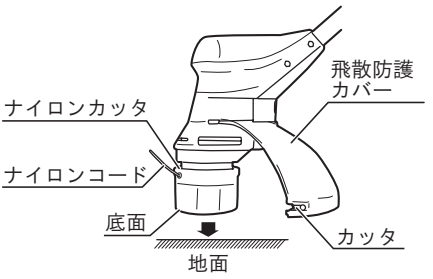
●ナイロンカッタ使用時（別販売品）

ナイロンコードの引出し方法

・作業中ナイロンコードを引出したいときは、次の要領で行なってください。

1. スイッチ（トリガ）を放し、ナイロンカッタを停止させます。
2. ナイロンカッタの底面を地面に弾ませるように２～３回軽く叩き付けます。

⚠ ナイロンカッタの底面を、コンクリートや石などの硬いものに叩き付けないでください。ナイロンカッタ破損の原因になります。



3. スイッチ（トリガ）を引くとナイロンカッタが回転し、ナイロンコードが自動的に繰出されます。

※ ナイロンコードが出ないときは、再度上記作業を繰返してください。
ナイロンコードが長く出過ぎても、飛散防護カバーについているカッタで、自動的に長さを調整します。
※ ナイロンコードの取換え方法は、ナイロンカッタの取扱説明書をご覧ください。

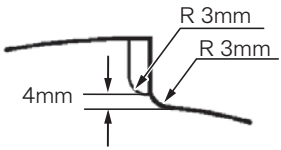
保守と点検

⚠ 警　告

・保守、点検、部品交換などのお手入れの前には、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。不意な始動によるけがの原因になります。

■刈刃（金属８枚刃）の手入れ

・刈刃は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
刈刃が摩耗して切れ味が低下したときは、右図の寸法で目立てを行なってください。

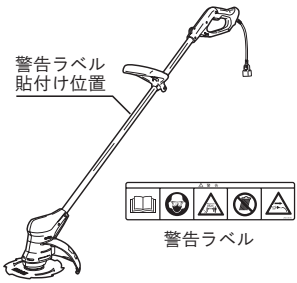


■各部取付けネジの点検

・ネジなどのゆるみがないか確認してください。もし、ゆるみがある場合は締直してください。

■警告ラベルについて

・警告ラベルについた汚れや泥を取り、表示内容がはっきりと見えるようにしてください。
・警告ラベルが損傷したりはがれた場合は、新しいラベルと交換してください。
・警告ラベルが貼ってある部品を交換したときは、必ず新しい部品の同じ場所に、同じ警告ラベルを貼ってください。



■使用後の手入れ

・油汚れなどをふき取り、使いやすい状態にしておいてください。乾いた布か石けん水をつけた布で本体をふいてください。
・ガソリン、シンナー、石油類での清掃は本体をいためます。また、水洗いは絶対にしないでください。

■作業後の保管

・刈刃に刈刃カバーを取付け、高温にならない乾燥した場所に保管してください。
お子さまの手の届く範囲や落下の恐れのあるところはさけてください。

■修理について

・本機は厳密な管理の元で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合には、お買い上げの販売店にご用命ください。
その他、部品ご入用の場合、あるいは取扱い上ご不明な点、ご質問など遠慮なくお問い合わせください。

故障かなと思ったら

故障かなと思われましたら、次のチェックリストに添って点検を行なってください。

症　状	原　因	処　置
スイッチを入れても刈刃が回らない。	電源プラグが電源コンセントから抜けていませんか。	コンセントにさし込んでください。
	コードが途中で切れたり、断線していませんか。	延長コードを取替えてみるか、他の電気用品で確かめてください。
	刈刃部に草などが巻付いていませんか。	必ず電源プラグを抜いてから、草などを取除いてください。
作業中、急に音が変わった。	刈刃部に草などが巻付いていませんか。	必ず電源プラグを抜いてから、草などを取除いてください。
	刈刃が欠けたり、変形していませんか。	新しい刈刃と交換してください。
振動が大きい。	刈刃と刃受金具の嵌合部が合っていますか。	嵌合部を確実に合わせてください。
	刈刃が欠けたり、変形したりしていませんか。	新しい刈刃と交換してください。
草が刈れない。	刈刃が欠けたり、摩耗していませんか。	新しい刈刃と交換してください。
	刈刃の向きを間違えて取付けていませんか。	正しく刈刃を取付け直してください。

これらのチェックを行なっても正常に作動しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

RYOBI

持込修理

刈払機　　保証書

リョービ刈払機をお買い上げいただきましてありがとうございます。
本書はお買い上げ日から下記保証期間中に故障が発生した場合に、
本書記載内容で無料修理を行なうことをお約束するものです。
詳細は下記をご参照ください。

モデル名		製造番号
お客様	お名前	
	ご住所 〒 電話　　（　　）	
お買い上げ日		保証期間（お買い上げ日より）
平成　　年　　月　　日		1年
販売店	取扱販売店名・住所・電話番号 印	

レシート貼付

リョービ販売株式会社
〒468-8512
愛知県名古屋市天白区久方1-145-1
TEL.(052) 806 - 5111

リョービ株式会社

無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
   （イ）無料修理をご依頼になる場合には、お買上げの販売店に商品と本保証書をご持参ご提示いただき、お申し付けください。
2. ご転居、贈答品等で本書に記入してあるお買上げの販売店に修理がご依頼になれない場合には、リョービ販売営業所にお問い合わせください。
3. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
   （イ）使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障または損傷。
   （ロ）お買い上げ後の落下、引越し、輸送などによる故障または損傷。
   （ハ）業務用およびそれに準ずる使用をされて生じた故障または損傷。
   （ニ）本書のご提示がない場合。
   （ホ）本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入または、お買上げ年月日、販売店名を証する物（レシートなど）の添付のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
   （ヘ）付属品、別販売品や消耗品類の場合。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   (This warranty is valid only for Japan.)
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。

お客様の個人情報は、上記の目的以外には、一切使用いたしません。

■修理メモ

●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明な点があった場合には、
ご遠慮なくお買い上げの販売店にお問い合わせください。

※改良のためお断りなく仕様、外観などを変更することがあります。

RYOBI

発売元
リョービ販売株式会社

本　社　〒468-8512　愛知県名古屋市天白区久方1-145-1
Tel. (052) 806-5111 Fax. (052) 806-5141
http://www.ryobi-group.co.jp/r-sales/